

第 43 回国立大学法人筑波大学学長選考会議議事録

I 日 時 令和元年 12 月 17 日（火） 16 時 30 分～17 時 40 分

II 会 場 学生会館 3 階 320 室

III 出席者 河田悌一、菊地 功、岸 輝雄、工藤智規、住川雅晴、花井陳雄、松村栄子、
青木三郎、阿部 豊、太田 圭、小川園子、加藤和彦、加藤光保、佐藤 忍、
西保 岳、松本 宏、溝上智恵子、金保安則、稲垣敏之、原 晃、
Benton Caroline Fern

IV 議 題

- (1) 前回議事録の確認について
- (2) 新たな学長候補者の選考方法について
- (3) 新たな学長の任期について
- (4) その他

V 配付資料

- (1) 第 42 回学長選考会議議事録（案）----- [資料 1]
- (2) 新たな学長候補者の推薦方法の検討結果について----- [資料 2]
- (3) 学長の任期に関する規則の一部改正について----- [資料 3]
- (4) 新たな学長候補者の選考方法及び学長の任期について（整理表）----- [参 考]

VI 議 事

1 前回議事録の確認について

資料 1 の第 42 回学長選考会議議事録（案）は、原案どおり確認された。

2 新たな学長候補者の推薦方法の検討結果について

資料 2 に基づき、稲垣理事から 10 月 17 日の教育研究評議会において、学長候補者の推薦方法の検討委員会が設置されたことについて説明があり、委員による互選の結果、委員長に選任された松本 宏 大学執行役員（生命環境系長）より、学内での検討結果について報告があった。

3 学長の任期に関する規則の一部改正について

資料 3 に基づき、事務局から説明ののち、委員との意見交換の結果、

- ・ 中期目標・計画の重要性に鑑み、1 年前に学長を選考すること
- ・ 学長の任期は「3 年」＋「3 年」とし、その中間での学長選考は再任審査とすること

が確認された。なお、委員から、学長の任期と学長選考手続きは密接に関連しており、再任される際の取扱いも含め、分かりやすく規定する必要があるとの意見があり、事務局において修正案を作成し、学長の選考手続きの定めと併せて、次回の会議で検討することとなった。

4 その他

事務局から、次回は令和2年1月22日（水）の経営協議会終了後に開催予定であることについて、説明があった。